

地方分権改革の旗手会議（令和4年度第2回）の概要

【日時】令和5年3月1日(水)～3日(金) 13:30～14:30

【開催方法】リモート開催（Zoom、Webex）

【参加者】旗手交流会：計27名

※ 全体会議は、YouTubeの動画を視聴

【期間】令和5年2月21日(火)～3月31日(金)

旗手会議は、全体会議（地方自治体による事例紹介等）と交流を目的とした旗手交流会の2部構成としている。

全体会議はYouTubeを活用して時間を気にせずに視聴できるようにした。また旗手交流会は、旗手と内閣府職員（地方支援班）とで活発な意見交換を行うことができた。

○令和5年提案募集方式における募集方法について

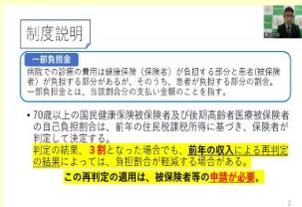
令和5年の提案募集のスケジュールや重点募集テーマ「連携・協働」「人材（担い手）確保」について説明しました。

○地方自治体からの事例紹介

地方分権改革推進アワード受賞団体から、提案の内容や提案した経緯について紹介していただきました。（徳島県、愛知県春日井市）



【細田参事官 あいさつ】



【春日井市の事例紹介例】

【参加者の声】

- 普段から業務の一環として行っている事務について、時間がかかる、支障があると思っているにもかかわらず声をあげられない職員が多い中で、提案募集制度を活用し制度改善につなげることができた春日井市の事例は、とても良いものと思いました。
- 業務により時間に限りがある中で、空いた時間に視聴できること、再生速度の調整や聴き直しができることなど、配信のメリットが大きかったです。
- ナビゲーション・ガイドや令和5年度の重点募集テーマの説明など新しい情報があったことは良かった。

○旗手交流会（60分間）6グループで意見交換を実施。

【テーマ】提案の集め方、アイデアの掘り起こし方（苦労していること、取り組んでいること）について

主な発言

（提案の集め方、課題など）

- 市町の規模が様々であったことから、異なる実情や取組みを聞くことができ、大変興味深い交流会になりました。次回は募集ももちろんですが、事務処理についても他市町の作業方法等を聞いてみたいと思いました。
- どの自治体でも同じような悩みを抱えていることや、その中でも工夫していることを話していただいたので、大変参考になった。本市ではチラシ等の資料作成くらいしか工夫ができていないので、今回の話の内容を参考にしたい。
- オンライン方式ではあるが、顔を見て話し、悩み等を共有することで親近感が生まれ、自治体間で相談する際のハードルが下がったように感じた。